

琉球病院 Monthly



独立行政法人
国立病院機構 琉球病院
National Hospital Organization RYUKYU Hospital

Vol.01
2013 January

発行 発行者 琉球病院事務部長

基本理念

院長 村上 優

この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である

発行にあたって

明けましておめでとうございます。
平成25年が始まりました。これを機会に琉球病院Monthlyを毎月発行し、当院の今をお知らせして地域医療連携の一助にしたいと願っています。精神科医療も今年は精神保健福祉法の改正が準備されており、入院期間の限定や保護者制度の廃止など大きな変更が予想されていますし、国や県が定める医療計画の中で精神障害が加わり5疾病となり計画が策定されます。そこに精神科医療が大きく動く予感があります。琉球病院では精神科専門医療を地域とともに育てることを目指して診療や研修をしています。窓口の医療連携室だけでなく、病院全体が地域でのニーズや要望にお応えしていく窓となるようにと心がけ、情報交流をこのMonthlyに託しています。活用いただければ幸いです。



最近のトピックスの一つは治療抵抗性や「重度かつ慢性」精神疾患という言葉です。広く「こころの診療科」としての精神科医療が活躍する一方で、治療抵抗性なるがゆえに新しい試みを取り入れる必要のある領域があり、統合失調症ではクロザピンの登場により治療抵抗性の統合失調症にも治療効果や予後への光明が見出されています。この春にはアルコール依存についても飲酒渴望を抑制する新薬が世に出て、しっかりと動機付けした上で使用すると断酒効果を向上させることができます。琉球病院は新しい精神科専門医療を提供する場となることを願っています。

診療科

- ・一般精神科
- ・こども診療科
- ・物忘れ外来
- ・アルコール依存症等外来

病床数 406床

- ・精神科病棟 181床
- ・認知症 50床
- ・アルコール 54床
- ・児童思春期ユニット 4床
- ・重症心身しょう害児 80床
- ・医療観察法 37床



那覇市からのアクセス



●アクセス

路線バス/那覇BS(下り)または名護BS(上り)より沖縄バス「77番名護東線(浜田)バス」下車徒歩3分
自動車/那覇市から40分
沖縄自動車道金武インターから名護向け5分

トピックス

行事・出来ごと

- 病棟等建替整備を予定しております。
- 進捗状況：基本設計終了
 - 病棟完成予定 平成26年10月
 - 作業療法棟完成予定 平成27年 7月

教育・研修

- 小児思春期の精神医療① 平成25年1月17日(木) 17:30～ 詳細は裏参照
- 子どもの発達を促すテクニック「行動療法」③ 講師：橋本憲明
場所：琉球病院療育指導室 平成25年1月26日(土) 13:30～16:00
第9回 アルコール関連問題地域職員研修会 平成25年1月29日(火)
対象：地域の行政職員 場所：当院テレビ会議室 8:00～17:00

● 地域医療連携室だより

・活動状況 当院での受診相談や地域、行政、他医療機関からの窓口として、地域医療連携室があります。精神一般、認知症、アルコール治療、小児思春期等の診療案内、また、治療抵抗性統合失調症治療で効果のあるクロザピンによる治療、修正型電気けいれん療法(m-ECT)、セカンドオピニオン等各種相談に応じております。

お困りのことがあれば、お気軽に地域医療連携室へご相談ください。



空床状況

12月20日現在

精神科病棟
8床

認知症
2床

アルコール
10床

児童思春期ユニット
3床

※ 入院予約に関するお問い合わせは地域医療連携室へご相談下さい。

お問い合わせ時間
8:30～17:15(土・日・祝日以外)
TEL:098-968-2133(代)
内線:231・234
FAX:098-968-7370
地域医療連携室直通

治療抵抗性精神疾患への医療



クロザピンの治療状況

治療抵抗性総合失調症に対して、平成22年に1例目の投与を開始し、全症例は60例となりました。平成24年11月の新規導入は6例で、他の医療機関からの紹介例は2例でした。治療経過も良好で、退院数も計17例と増えています。

m-ECTの治療状況

当院では、県立北部病院麻酔科の御協力の下、m-ECTによる治療を行っております。平成24年11月の治療実績は10例であり、各症例とも改善傾向が認められております。

こども心療科

沖縄県における役割と診療状況

当院では地域の関連機関と連携し、外来及び入院を通して発達障がい・情緒障がいを有する子ども・ご家族への専門医療の提供を行っています。

保健・福祉関係との連携について

子どもの育ちの場である地域との連携を大切にしたいと考えております。保健師や学校関係者との勉強会、情報交換会も実施しております。

研修会・勉強会の開催について

- 【開催日】平成25年1月17日（木）17：30～ 小児思春期の精神医療①
- 【開催場所】琉球病院TV会議室
- 【問い合わせ先】kenshu-child@ryu2.hosp.go.jp 心理療法室 野村



子ども診察室（プレイルーム）

認知症医療



▲敬老会

役割と診療状況

役割と診療状況 認知症によって家庭や一般病院、施設での介護や治療が困難な方に対し、まずは診断、治療に入ると薬物療法や作業療法（日常生活機能回復訓練）を行いながら、食事や排泄などのADLの自立・保持と情緒の安定を図ります。自宅や介護施設からお見えになった患者様が、治療によってBPSD（周辺症状）の軽減ができ、短期（60～90日）での退院を目指します。

アルコール・薬物依存医療

アルコール・薬物依存の治療と看護

専門病棟を有し、専門のスタッフによる認知行動療法に基づく治療プログラムを提供しています。家族教室も実施し、家族の回復も支援しています。

早期介入について

今帰仁村保健センターと協力して、地域の特定健診や保健指導の中で、住民の飲酒問題の早期発見を行い、希望者には健康教室の開催を行っています。



総合病院でのアルコール相談について

平成23年より県立中部病院内にアルコール相談室を開設しています。対象は、アルコールに悩むご本人もしくはそのご家族です。気軽にご相談下さい。

早期介入について

地域の行政職を対象に「アルコール関連問題地域職員研修会」「ブリーフ・インターベンション研修会」を開催しています。また、医師や看護師による講演も実施しています。次回開催日 平成25年1月29日「第9回アルコール関連問題地域職員研修会」を当院テレビ会議室で開催予定です。

包括的地域精神医療（ACT）

R-ACTの活動状況

平成24年4月からR-ACT(琉球アクト)の多職種チームを結成しました。看護師、精神保健福祉士、作業療法士、心理士、医師等がメンバーで、目的に応じて多職種で訪問しています。当院は1日8時間、週6日からはじめています。地域の生活を安定するために微力ですが活動をしています。

臨床研究部の活動状況

2012年4月より臨床研究部が立ち上がりました。さまざまな分野の取り組みと成果が精神科医療の発展に貢献できるよう頑張ります！マンスリーでは、各研究室の活動と成果を皆様に還元できるようご報告してきたいと思ひます。

